

新 子豚から飼料米を食べた元気でおいしいふくいポークづくり (H23~24年度)

実施主体：畜産試験場
 担 当：家畜研究部中小家畜研究G
 連携機関：食品加工研究所

1. 研究の目的・必要性

県では、生産者の顔が見える安心さをPRし、ふくいポークの生産を振興している。しかし、現場では生産低下の最大要因である子豚をいかに元気に育てるかが課題となっている。そこで、県産の米粉や乳酸発酵させた米粉を子豚に与え、より元気になる技術を開発する。併せて、引続き育成豚や肥育豚にも県産飼料米を給与する技術を検討し、よりおいしいふくいポークの生産拡大と飼料自給率の向上を図る。

2. 研究項目・内容・年度計画等

研究項目	研究内容	実施年度	
		H23	H24
1 新生子豚への米粉乳酸発酵飼料給与試験	人工乳への米粉・米粉発酵飼料の混合給与が新生子豚の発育性等に及ぼす影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・給与量、給与方法による発育成績の検討 ・自然免疫機能強化効果の検討 ・ストレス評価 	<p>【米粉乳酸発酵飼料、玄米、粳米の組み合わせ試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場内試験 ・現地実証試験 <p>○調査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発育成績 ・自然免疫機能強化効果 ・ストレス評価 ・豚肉の肉質成績 ・脂質の主な成分の検討 ・官能検査
2 育成子豚への飼料米代替給与試験	市販飼料への飼料米の代替割合が育成子豚に及ぼす影響について		
3 肉豚への粳米代替給与試験	市販飼料への粳米の代替割合が肉豚に及ぼす影響について		
4 農家における実証調査 □	23年度成果を踏まえた効果を現地実証で確認		

3. 期待される成果等 (成果目標)

子豚育成率のアップ：10%

子豚の増体量：生時～離乳：0.2kg、離乳～育成：0.5kg

肉質の向上：背脂肪の厚さ 2.5cm以下

4. 予算額 1,620千円 (財産収入904千円、一般716千円)